

令和8年度施策評価シート（評価対象年度：令和7年度）

基本政策 【分野】	都市基盤が整った快適で暮らしやすいまちづくり 【都市基盤分野】	施策	30_公共交通	所管部長 取りまとめ所属	都市部長 都市政策課		
施策の内容	快適で利用しやすい公共交通ネットワークの形成に向け、交通事業者との連携による取組を推進します。						
めざす姿	本市のまちづくりに対応した快適で利用しやすい公共交通ネットワークが形成され、誰もが安全で快適に移動することができています。						
重点事業							
施策構成事業	公共交通対策事務費						
評価							
進捗評価	概ね順調	評価の 判断理由	令和5年度に策定した地域公共交通計画に基づき、ノンステップバスの導入を進め、着実に実績値が上昇しています。また、市内の公共交通利用者については、目標値を達成しているところではありますが、引き続き利用促進に資する取組を進めています。これらの経過から概ね計画どおりに実施できていると判断できます。				
施策推進上の課題・ 環境変化	少子高齢人口減少社会の進展やコロナ禍以降の新たな生活様式を背景として、高齢者等の新たな移動ニーズへの対応が求められています。また、運転士不足の深刻化等、公共交通を取り巻く環境は厳しさを増す中で、運転士の確保やバス路線の減便等に対して、公共交通事業者と連携を図り対応を検討していく必要があります。						
評価の経過	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	概ね順調	概ね順調	概ね順調				
施策推進の方向性							
方向性	継続						
総評・今後の施策 推進方針	公共交通の課題や環境変化に対応して、速やかな対応が求められる中で、福祉施策との連携を図るとともに、高齢者等の新たな移動ニーズや運転士不足、バス路線の減便等への具体的な対応策を検討していきます。また、引き続き、ノンステップバスの導入促進などによる利用しやすい公共交通環境の推進とともに、広報いせはらや利用促進リーフレットを活用した利用促進活動、公共交通空白地区等については、地域特性に応じた新たな交通モードを検討するため、業務委託により各地域の現状及び課題整理を行うとともに、次年度の実証実験を見据えた取組を進めてまいります。						
成果指標							
成果指標名	現状値	R 5 実績値	R 6 実績値	R 7 実績値	R 8 実績値	R 9 実績値	R 9 目標値(方向性)
指標の定義							
市内の公共交通の利用者数	728万人 (R3)	904万人	905万人	890万人			845万人
路線バス、タクシーの年間利用者数							
ノンステップバスの導入率	49% (R3)	50.0%	62.4%	73.9%			80%以上
市内運行路線のノンステップバスの導入率							
快適で利用しやすい公共交通ネットワークが形成されている 市民意識調査で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合	49.2% (R4)	48.2%	45.9%	46.7%			↗
重点事業の取組内容							
事業名							
事業内容	—						
取組工程	項 目	令和7年度					
		計画	実績				
	—	—			—		
令和7年度 取組内容	—						
重点事業以外の取組内容							
令和7年度 主な取組内容	●利用促進活動では、地域イベントによる啓発活動の実施や、公共交通事業者の取組等を掲載した利用促進リーフレットの配布を行いました。また、誰もが利用しやすい交通環境の整備に向けて、ノンステップバスの導入に係る補助を行いました。公共交通空白地区等について、地域ニーズや実状を把握するために対話を行うとともに、上平間台自治会において設立した勉強会においてボランティア輸送の導入について検討を行ったほか、多様なモビリティサービスの検討を行うため、先進事例の調査・研究や、福祉部局と定期的に情報共有を行うことで連携強化を図りました。						